

1

音声同人サークル LOVIP

2

アンコールは鳴り止まない① 本編

3

脚本 凶兎凶

4

5

6

7

アンコールは
鳴り止まない

8 【アンコールは鳴り止まない】

9 キャラ

10 ※水科光輝（みずしなこうき）↓18歳

11 天性の美声、ダンスの才能を持つ男性アイドル。本来は気弱で子供のような癩癪持ちで、人
12 に依存しやすい体質。しかしアイドル時はチャラい女たらしのようなキャラクターになる。

13
14 幼少時代、児童養護施設に預けられていた水科。彼が∞歳の頃、公園でボンヤリしていると
15 ころを、暗い表情と、あまりのイケメンぶりにマネージャー（ヒロイン）が保護。自分が勤務
16 していた事務所△の養成所に入れます。水科とマネージャーとは幼い頃から公私を共に過
17 ごしてきた過去がある。昔、マネージャーの事を「ネエネ」と言って呼んでいた。が、アイ
18 ドルデビュー後、人の前ではマネージャーと呼ぶように徹底されている。

19
20 設定

21 ※トラック1 前日談

22 事務所△を退社した水科とマネージャーであるヒロインが、カフェで話す場面。
23
24
25
26
27
28
29
30
31
32
33
34
35
36
37
38

01. 「Kadsuia ただ一度だけ会いたくて」 ～喫茶店。水科のアイドル活動復帰決定！～

喫茶店にて、ヒロインが入店

(ヒロインを見つけて)

あっ…マネージャー！こっちこっち！

(汗だくのヒロインを見て、軽く笑う)

っ、ふふ。……マネージャーったら、随分急いできたんだね？お疲れ様。

……一週間ぶりくらい？元気そうで良かった。

ん？……ああ、そんなに待ってないから、余り気にしないで？

…それより、俺の方こそ先に色々頼んじゃってて、ごめん。

……そうだ、マネージャーは何飲む？このコーヒーが好きって、前に言ってたよね？……
コーヒーにする？

ん、了解っ。俺もココアのおかわりもらおっと…。

(店員に呼びかけ)

あ、すみませーん！

※ヒロイン「あの、話…」

っ……！っ、ああ、そうだよね……？話がまだだよね……。

……でも、話を始める前に、ちょっとだけ時間をくれないかな……。

※ヒロイン「どうして？」

っ、うーんと、それは、えっと……。……なんて言うか、俺も少しだけ、心の準備がしたいな
あって…。

……だから、話は飲み物飲み終わった後じゃ、ダメかな…？

※ヒロイン「そういう事ね、大丈夫だよ」

74
75 つ、良かった。…ありがとう、マネージャー。
76

77 ……なら、話はゆっくり飲み物を飲んだ後に…落ち着いて話そうか。
78

79 ん、ん、んっ……。はぁー、美味しい……。
80

81 つ……このドリンク、何頼んでも美味しいね！
82 ……マネージャーのコーヒーは、どんな感じ？
83

84 ※ヒロイン「ええ、美味しいわ」
85

86
87 そっかー、美味しいなら良かった！……なら次は、俺もコーヒーにしようかなー、なんて…。
88

89 つ……えっと、いつまでも誤魔化したら仕方が無いからさ、そろそろ本題に入るよ…？
90

91 ……今日、マネージャーが俺をわざわざ呼び出してまでしたい話って…一体何の話なの？
92

93 ……俺、突然ユニット抜けては、事務所も勝手に退所した、とんだお騒がせ人間なんだよ？
94 ……マネージャーはそんな奴との会話で、貴重な休日を潰しちゃってもいいわけ？
95

96 ※ヒロイン「そんな、思ってもない事を言わないで」
97

98 つ……本心じゃないって、何でそう思うの…？…俺、嘘ついてるように見えるわけ？
99

100
101 え……！？顔に出てるって…マジで！？……俺、マネージャーが来てからずっと、ニヤケっ
102 ぱなしかったの……！？
103

104 つ……あー、何か……。……何かそれ、すっげー恥ずかしいっ……！
105

106 ※ヒロイン「なら、会えて良かったと思ってくれる？」
107

108 つ……う、うううっ……！
109

110
111 つ、ふう……。っ…はいはい、そうですよそうですよー。
112

113 ……俺、マネージャーとまた会えるのが嬉しくて、本当に楽しみで……。だから今日も、一
114 時間くらい前にここに来ちゃったってわけ…。悪かったですなーだ…。
115
116

117 つ……。！マネージャーったら、そんな笑わなくてもいいだろ！？もう…！
118

119 ※3秒の間
120

121 つ……。こほん、こほん。……。じゃあ、本題に入るよ？
122

123
124 ……今日、マネージャーが俺を呼び出してまで話して、一体なんの話？……。やっぱり
125 ユニット、上手くいってないとか？
126

127 そっか、ユニットの話じゃないんだ…。…なら一体何だろう？俺、あんまり思い付かないん
128 だけど…。
129

130 ……あっ！もしかしてあれから、マネージャーへの風当たりが強くなったとか…。？…ね
131 え、そんなんじゃないよね…。！？
132

133 つ……。そっか、良かった…。
134

135 ……もしそんな事になってたら、俺、きつとまた…。
136

137 ※ヒロイン「どうしたの？」
138

139 つ……。ううん、何でもない…！
140

141 ……けど、ユニットの話でも事務所の話でも無いなら、本当に何の話なの？
142

143 ……後輩への伝言とか、引き継ぎとか？…それとも、今度のライブの話？…いや、それとも
144 なぁ…。
145

146 ※ヒロイン、遮って言う「あのね、私も事務所を辞めたの」

147
148 ……え？マネージャー…事務所、辞めたの……？

149
150 つ、そりゃあビックリするに決まってるでしょ……！？だって、マネージャーが事務所辞め
151 る理由なんて、何一つ無かったじゃん……！

152
153 ※ヒロイン「お、落ち着いて？」

154
155 つ、だって落ち着けないって！そんな話聞いて……！

156
157 つ………何で辞めたの……？……マネージャーに、事務所を辞める理由ができたって
158 いうの……？

159
160 ※ヒロイン「そんなに心配してくれてたなんて思わなかった」

161
162 つ、当たり前でしょ！？マネージャーの事、心配に決まってるじゃん……！

163
164 つ………何で？やっぱり俺がした事の責任…マネージャーが取らなきゃいけなかったわけ
165 ……？

166
167 ※ヒロイン、遮って言う「違う、違うわ。私は自分の意思で辞めたの」

168
169
170 つ……それ、本当に本当なの……？……事務所やめてきたのは、本当にマネージャーの意思だっ
171 たんだよね……？俺に気を遣って言ってるわけじゃ、ないよね……？

172
173 ※ヒロイン「ええ」

174
175
176 つ………分かった…。まだ納得出来てないけど……マネージャーがそう言うなら

177
178 ……俺はそう受け取るね……？

179
180
181 ……今日、マネージャーが話したかったのは…この話だったんだ？

182
183 ※ヒロイン「それもそうだけど、違うよ」
184

185 えっ…？これ以外にも、話があるの？
186

187 ……んー、それなら…再就職の話とか、お金の話？
188

189 ……あつ、それとももしかして、マネージャー…結婚するとか？
190

191
192
193 ※ヒロイン「もう一度、ソロとしてアイドルに戻ってほしいの」
194

195 ……え？もう一度戻って来て欲しいって…俺が、芸能界に？
196

197
198 ……マネージャー、それ…本気で言ってるわけ？
199

200 ふーん…もう一度、ソロとしてアイドルに戻る…ね。
201

202 ふう…そういう事なんだね？
203

204 ……マネージャーは俺の為に、わざわざ事務所まで。
205

206 ※ヒロイン「ええ、ダメかしら…？」
207

208 ……ありがとう、マネージャー。…その気持ちは、とっても嬉しいよ？
209

210 ……でも、マネージャーは分かてる…？（少し溜め）…俺、もう一度アイドルとして戻るに
211 は、かなり厳しいと思うんだけど。
212

213 ※ヒロイン「そんな事ないよ！」
214

215 ……。そんな嬉しい事言ってくれるの、今はマネージャーだけだよ…？ありがとう……。
216

217

218
219 ……でも俺、今はネットでもリアルでも、かなり評判悪いんだよね……！
220

221
222 ……一身上の都合なんて理由で、説明もなくグループ脱退しちゃったし、初めてのワンマン
223 ライブに穴開けるし、ファンにもグループにも迷惑かけたし……。
224

225 ……だから、俺を待つてる人なんてもう居ないし、今更ソロに戻って活動したとしても、も
226 う見向きもされないと思うんだ……。
227

228 ※ヒロイン「それはもう終わった事でしょ？終わった事を言っても仕方ないわ。…水科君は、
229 アイドルに戻る気はないの？」
230

231
232 ……うん、確かにそれは、もう終わった事だけど……。

233 ……でも、こんなに沢山の人に、色んな迷惑かけたんだもん……。…もう俺、今更普通のアイ
234 ドルになんて戻れないよ……。

235
236 ※ヒロイン「私は、水科君の気持ちを聞いているの」
237

238
239 ……やめて、やめてよ、マネージャー……！
240

241 …俺は、マネージャーが自分の為にここまでしてくれたただで、凄く嬉しいし、もう十
242 分だから……！だから、何度言われても、俺の気持ちは変わったりしないからっ……！
243

244 ※ヒロイン「アイドルに戻りたいって今でも思ってるよね？」
245)

246 …………。っ……そうだよ？戻るなら、元に戻りたいよ……？
247

248
249 ……だって…歌うのも好きだったし、踊るのも好きだった……！
250

251 ……辛い事も苦しい事も沢山あったけど、本当に本当に楽しかった……！だから、続けられる
252 なら…まだ続けていたかったよ……。
253

254
255 ……………でも、そんな自分達の楽しみだけの為に、
256 マネージャーを苦しませるなんて事…俺には出来なかったから、だからっ…………！（後の言葉
257 はヒロインに遮られる）
258
259
260 つ…………そうだね？また違う事務所に入り直せば…もう一度アイドル出来るかもしれないけ
261 ど…。
262
263 でも、もうどこの事務所も拾ってくれないよ、俺みたいなダメなやつ…。
264
265 ※ヒロイン「新しい事務所は、もう手配済みだよ」
266
267 つ、え…？…もう別の事務所に、手続き済み…？
268
269 ※ヒロイン「ええ、しかも大手の××事務所よ」
270
271 えっ、えっ…！？…………しかもその事務所って、今かなり大手の所じゃん…………！
272
273
274 ……何で？…まず俺、戻るなんて一言も言っていないのに…！
275
276 ※ヒロイン「ええ。でも水科君は、必ず芸能界に戻ってくる存在だと思っていたから、ユニ
277 ャットにいた頃からかなり強引に売り込んだのよ」
278
279 つ…ええ！？ユニットにいた頃から売り込んだなんて、知らなかったよ…！…マネー
280 ジャーってば、強引過ぎ…。
281
282
283 ……それに、いきなりそんな事言われて、俺が簡単に「はい戻ります」って言うと思っ
284 たの…！？
285
286 ※ヒロイン「そうかな？」
287
288 そうだよ…！だって…俺が戻らないって言ったら、マネージャーはどうするつもりだった
289 わけ？

290 (自分で言って気が付き、やってしまったと言うように)……あつ。

291
292
293 ……いや、だって…その…!……これは、えっと、そのっ…!

294
295 ……だって、そんなの……まるで俺が復帰したがつてる事、見越してたみたいじゃん…。

296
297 ……マネージャーさ…?俺がマネージャーの頼みを断れない事、知っててこうしたんで
298 しょ…?

299
300 ……ずるい。ずるいよ、マネージャー…。……でも俺、好きだよ…マネージャーの、そう
301 いう所。

302
303 ※ヒロイン「水科君は、どうしたい?」
304

305)

306 ……。どうしたいって言われても、もう戻るしか、他に道はないでしょ?

307
308 ……やるよ俺…。…やってみせるよ、マネージャー。
309

310 うん…俺、もう一度、アイドルとして頑張ってみるよ。
311

312 ※ヒロイン「本当?」
313

314 ……うん。だって、俺を信じてここまでしてくれたマネージャーの好意と、最後のチャンス…。
315 絶対に無駄にする訳にはいけないからね。
316

317 ……ねえ、マネージャー…。俺、マネージャーと出会えた事、運命だと思ってるんだ…。
318 だから俺、一生マネージャーの為に頑張るよ。
319

320 ……それで名前の通り、光り輝ける様なアイドルに…マネージャーの誇りになる様な、一番の
321 アイドルになってみせる。
322

323 ……だからマネージャーも、俺の事…最後まで信じ続けて?……もう何があっても、俺だけ
324 のマネージャーでいるって、約束して?
325

326 ※ヒロイン「約束するよ」

327 ※3秒の間

328

329 つ、ありがとう……!

330 ……俺、これから先何があっても…マネージャーだけのアイドル、水科光輝でい続けるから
331 ね…。

332

333 (途中で昔の呼び方「ネエネ」で呼んでる事に気づいて、言いやめる感じ)、
334 ……だから、ネエ…

335

336 マネージャーも、どうかずっとずっと、俺だけのマネージャーでいてね?……約束だよ。
337

338

339

340

341

342

343

344

345

346

347

348

349

350

351

352

353

354

355

356

357

358

359

360

361

※「トラックから半年くらい経過。光輝はキャラ変してソロとして成功、チャライ感じのキ
ャラクターを演じている。ヒロインへの依存度が高くなっている。」

02. 「挨拶 線香花火」

♪ライブ終わりは甘えたいワンコモード♪♪だけど…?

※ライブ終わり

あ、どーも…ありがとうございますーす、ありがとうございますーす……。

…ん？ああ、そうっすね…ああ、はい。…はい、それで…。

※楽屋に入る

っ……！マネージャー！

っ、ただいま、マネージャー！…挨拶回り、お疲れ様！

ねえ、マネージャー疲れてない…？辛くない…？

……ほらほら、早く座って座って？

ねえねえマネージャー、ライブ見てた？歌どうだった…？

……最後のバク宙、上手く決まったでしょ？…ねえねえどうだった？ちゃんと見ててく
れた…？

えー？いいじゃん、ハグくらい…。

…俺、最初から最後まで、マネージャーの為にライブ頑張ったんだよ？…それなのに、少し
抱き着くくらいもダメなの…？

……ああ！それとももしかして、俺、汗臭いとか！？それなら今すぐ離れるけど…！

※ヒロイン「いや、それは大丈夫だけど…」

……汗臭くない？大丈夫？

(ホッと息を吐く)

っ……！はあ、良かったあ……！

……もう、余計な心配しちゃったじゃん、マネージャーのいじわる…。…っ、ふふ！

397
398
399 んー…、マネージャー…(匂いを2回すんすん嗅ぐ)
400 ん、んっ…(匂いを2回すんすん嗅いだ後、更に1回長く嗅ぐ)
401
402 ※ヒロイン「何してるの？」
403
404 ん？何してるのって…？……んー、そうだね…？
405
406 ……マネージャーが、挨拶回りで変な男に触られたり、言い寄られたりしてなかったかなっ
407 て…確認？
408
409 う、ちょっと！……逃げないでよ、マネージャー。
410 …俺は、マネージャーの事が心配だからしてるのに、酷いよ…。
411
412 う……。もつと周りを見ろとか、距離感を考えろとか……最近のマネージャー、口を開けば
413 そればっかじゃん…。
414
415 ……何で？ソロになる前はずっと、一番に「良かったよ」って…「お疲れ様」って伝えに來
416 てくれたのに…。
417
418 なのに最近のマネージャーは挨拶回りばっかで、俺の話…ロクに聞いてくれないじゃん！
419
420 う……何で？俺…ダメだった？下手っぴだった…？……だから俺のマネージメント、もう
421 したくなくなっちゃったの…？
422
423 う、ほんと…？ほんとに、ほんと…？
424
425 ……俺、マネージャーの中で、一番のアイドルになれてる？…一番の男に、なれてる？
426
427 ※ヒロイン「うん、一番だよ」
428
429 う…そっか、良かったあ！…ありがとう、マネージャー！
430
431 ……そうだね、マネージャーが俺の事避けるだなんて、絶対にありえない…。
432 …マネージャーが俺の事疎ましがるとか、見捨てるだとか…そんなの絶対の絶対にある

433 えないよね、そうだよね…。

434
435 ……あー、何か心配して損したあ！…ねえねえマネージャー、良かったらこの後一緒に
436 や…！

437
438 ※スマホの着信音

439
440 …っ。今更呼び出しか、タイミング悪いんだよ…最悪。

441
442 ※電話に出る

443
444
445 ……はい社長、なにかありましたか？

446
447 ……あー、了解です！その挨拶、俺も今すぐ行かなきゃいけないですよ？……分かりまし
448 た！今控え室にいます、すぐそっち行きます！

449
450 ※電話を切る

451
452 ……はあー。どうせ呼び出されるとは思ってたけど、だるいなあ……。

453
454 ※ヒロイン「社長から？」

455
456 ……ああ、うん…。何か社長から呼び出されたから、ちょっとだけ行ってくる…。

457
458 ならマネージャー、俺、ちょっと行ってくるね！

459
460 ……帰りはマネージャーの車で送ってってね？約束だよ？

03. 「Solero」 ～二人っきりの車内①俺とマネージャーは「アイドル」と「スタッフ」？～

※（ヒロインは光輝の送り迎えを他の人に任せ、一人で車に乗って帰ろうとしている。光輝はヒロインの車に乗り込もうとしている）。

※ヒロイン、一人車で帰る。車のエンジンをかける

※水科光輝がヒロインの車に駆け寄る音

※車のドアを勢いよく開け、車に乗り込む

っ……！はあ、はあ、はあー…。

っ……マネージャー……？……俺、帰りはマネージャーに送って貰うって、さっき言ってたよね……？……なのに、何で一人で帰ろうとしてるの……？……忘れちゃったの？俺との約束。

※ヒロイン「ど、どうして他の人に送って貰わなかったの？」

っ……何どうしてって、それは俺の台詞でしょ……！？

……マネージャーこそ、何で俺を置いて先に帰ろうとしたわけ……？説明してよ……！

※ヒロイン「だって、もう違う男性に送って言ってもらうように頼んでいたもの……」

っ、男のスタッフに頼んだって、何でそうやって他の人に押し付けるの……！？

……俺、帰りはマネージャーに送ってもらいたかったのに！

※ヒロイン「どうしてそんなに……」

っ……だから、まずは俺に説明してって言ってるじゃん！（語尾強めに）

※ヒロイン「話す、話すわ……！だから、大きな声なだめよ」

っ……あ、ああ、そうだよ……。……流石にもう遅いし、怒鳴ると近所に迷惑か……。

なら……このまま車の中で話そう……？それでいいね？

んっ……。

501 車……出っぺ。

502

503 ……今日はマンションに帰るから、俺の言う通りに運転してね？…頼んだから。

504

505

506

507

508

509

510

511

512

513

514

515

516

517

518

519

520

521

522

523

524

525

526

527

528

529

530

531

532

533

534

04. 「Give me!Snowdrop!」 ～二人っきりの車内②水科の癪癢が…～

535
536 ※車で移動中の二人

537 ※時間経過。車中での会話が続いている。

538
539 …ふーん、いくらマネージャーだとしても、一緒に車に乗ってて勘違いされたら良くない、
540 か…。

541 ……それで、違う奴に俺の送りを頼んだんだ。

542
543 ※ヒロイン「怒ってる？」

544
545 ん…? 「怒ってるか」って…見れば分からない?

546
547 ……ああ、そこ、右に曲がって。

548
549 ……俺さ、マネージャーと一緒に帰れるからって…あれからも挨拶回りとか色々頑張って
550 たんだよ?

551
552 ……それなのに、いざ帰ろうとしたらマネージャーの車は無いし、先に帰ったなんて言われる
553 し……。だから俺、送っていくって言われたの無視して、駐車場に行ったわけ…。

554
555 ……そしたらマネージャーが一人で帰ろうとしてるの見えたから、思わず駆け付けてドア開
556 けたの。

557
558 ……ああそこ、信号で左に曲がって。

559
560 ……ねえ、マネージャー、正直に言って…?

561 ……なんで最近のマネージャーは、俺に冷たい態度ばかり取るわけ? (少し暗く)…俺、自
562 分の知らない所で、マネージャーに迷惑とかかけてたかな。

563
564 ※ヒロイン「何もしないよ、でも…」

565
566 ……そうだよな? 俺、何もしないよね…? ……なら、何で急に冷たくなったの?

567
568 ※ヒロイン「周りに、距離感を考えろと注意されたの」

569

え……？注意されたって……何を？

※ヒロイン「マネージャーとそのアイドルの距離感じゃない、近過ぎると言われて…」

……俺とマネージャーの距離が、近過ぎる？

っ……………何だよ…何だよそれ！

…そんなの、そんなのは周りに関係ないじゃん……………！

※ヒロイン「でも、仕事の人に言われた事だから…」

っ…だって、俺達は俺達でしっかり仕事こなしてるじゃん……………距離とかそういうの、わざわざ部外者が口出してくる事じゃないじゃん……………！

※ヒロイン「そんな事言うものじゃないわ」

っ、はあ……………？何でマネージャーは、そんな奴らの味方するわけ！？

……………まさかマネージャーも、ずっとこのままの状態だなんて言わないよね……………？

※ヒロイン「それは、分からない…」

っ……………意味分かんない、意味分かんないっ……………！

……………何で！？何で周りのヤツらに少し言われただけで、急に俺への態度変えちゃうわけ……………？何で、ずっと近くにいた俺よりも、そんなどうでもいい奴らの言う事を優先しちゃうわけ……………？

※ヒロイン「でも、仕方がないの…」

っ、仕方がないとか意味分かんないよ……………！

……………マネージャーにとって俺は、そんな簡単に切り捨てられる存在だったわけ！？

っ……………

606 つ、うー…。

607 つ、仕方ないな…。取り敢えず静かな所まで案内するから、何も言わずに車飛ばして?…頼
608 むから。

610
611 (ラブホを指さして、淡々と)

612 …ああ、やっと着いたね?…じゃあここに、とっとと車入れて?

613
614 ……ふ、何?…夜で静かなところって言ったら、ラブホ位しかないでしょ?…ほら、早
615 く車入れてよ。

616
617 ※ヒロイン「話をするって…」

618
619 うん、勿論ちゃんと、話はするよ?…でも俺の家はマズイし、明るい所に停めるのも良くな
620 いでしょ?

621
622 ……それに、今俺がこうして車に乗ってるのも、マネージャーの周りの人に言わせたら、距
623 離が近過ぎるんだよね…?

624 ……だったらまた何か言われる前に、早く入った方がいいと思うけど?

625
626 つ、ふふ…良かった。

627
628 ……これでしばらく、二人っきりで話ができるね?マネージャー…。

629
630 つ、ああ…ごめん。…何か、いざこうして話すとなると、あんまり頭が働かなくて…。

631 ……話したい事は沢山あるんだよ?でも、それを直接聞くとすると、何だか怖くて…。

632
633 ※ヒロイン「明日も朝からスタジオ入りで早いし、何も今日全部話し合わなくても…」

634
635 つ、何?…そんなに結論を急がないといけない事なの?この話って…!

636
637 ……もっと二人で悩んだり、ゆっくり考えないといけない話じゃなかったの…!?

638
639 ※ヒロイン「違うよ、そういつうもりじゃ…ただ、明日に響いたら水科君が大変でしょ?」

640
641

642 つ、明日の仕事が早いって事くらい、俺だって分かって言ってるよ！

643 ……それともマネージャーは、俺本人よりも俺の仕事の方が大切ってわけ…！？

644

645

646 ※ヒロイン「そういう事じゃないよ、勿論水科君の方が大切だよ」

647

648 つ…それ、ほんとなの…？…ほんとに、仕事より俺の方が大切って、言ってる…？

649

650 ※ヒロイン「ええ、本当よ」

651

652 つ…ほんとにほんと…？

653 …俺が面倒臭いからって、嘘…ついてないよね？

654

655 ※ヒロイン「本当だよ」

656

657 つ、そっか、良かった…本当に良かったあ…！…つ……ありがとう、マネージャー…！

658

659 はあ、良かった……ホントにホントに良かったあ。

660

661 ……俺、マネージャーに嫌われるくらいなら、死んだ方がマシだと思ってた。

662

663 でも、マネージャーだって…ホントは俺と距離を取りたくないのに、嫌々周りの指示に従っ
664 て、俺と距離を取ってたんだよね？

665

666 ……優秀だからって、可哀想なマネージャー…。…今日は、俺がマネージャーの事、沢山
667 慰めてあげるからね…？

668

669 （唇を離し、ヒロインを抑え込んで）

670 つ、んんっ……！

671

672 はあ、はあ…。っ…やだよ？今日は俺…絶対にマネージャーの事、逃がさない…。

673

674 ……だって俺、今晚こうやってマネージャーと二人でいる為に…今回のライブも、強化合宿
675 も、レッスンだって頑張ってきたんだよ…？

676

だから久々に、触っても…いいよね？

677

……んっ

678
679 はあ、はあ……。

680
681 つ……あのね、マネージャー……。……俺がアイドルやってるのは、全部マネージャーの為……。
682 ……歌うのも、踊るのも、笑うのも……。全部全部、マネージャーの為なんだからね。……だ
683 から、それを忘れないで……？

684
685 ※キス

686
687 ※ヒロイン「こんな、所で……！」

688
689 つ、大丈夫……。……俺達以外の車は無いし、こんな暗い駐車場なんだから、誰も写真なんて
690 撮りやしないよ……。

691
692 ……でも恥ずかしいなら、こうして俺のタオルで……目、塞いであげる。ほら……。

693
694 ※タオルで目を覆い、縛る

695
696 ね？タオルで目隠し……。これなら大丈夫でしょ……。……んっ

697
698 ん？……やーだ、やめてあげない……。

699
700 ……いつもはマネージャーの言う事聞いてるけど、今日は俺の言う事、聞いて貰うんだから
701 ね……。

702
703 ん……！

704
705 つ、ふふ……。……マネージャー、今日は大人しめのブラなんだね？可愛い……。

706
707 ……でも、全部脱がしちゃうから意味無いか。

708
709 ん……。まだ軽くキスしてただけなのに……。乳首、もう固くなって、コリコリしてるね？

710
711 つ、ふふ……。ほら……。キスされただけで、ビクンって震えた可愛い乳首……。沢山舐めてあげる
712 ね？んっ……

713
つ、凄い声……。……マネージャー、俺としてない間、一人でオナニーしてなかったの……。……体、

714 もう凄く敏感になって、指先で撫でられただけで、ビクビクしてるじゃん。エッチだなあ…。
715 ん……
716
717 んう…？目隠しされへるからって…目隠しふると、そんなにきもひいの？んんっ…
718
719 っ、ふふ…！……乳首いじめられただけで、そんなに足、擦り合わせて…。
720
721 …おまんこ、もうチンポを入れられたくて、切なく疼いてるわけ？…可愛いね。
722
723 っ、ふふ。いいよ…？……そろそろこっちも、ちゃんと触ってあげるね。
724
725 っ、なーに…？目隠しが怖い…？
726
727 ……そうだよな。だって目隠ししてると、どこをどう触られるとか、分からないもんね…？
728
729 ……でも、こういうのも興奮するんでしょ…？……マネージャー、俺の声が好きって、いつ
730 も言ってくれてるもんね？
731
732 ……どう？耳元で話されたり、耳の中、ぐちゃぐちょ舐められるの、興奮する…？
733
734 ん…こっちも平等に、舐め舐めしてあげるからね？っ…。（左耳を10秒舐める）
735
736 ……ああ、もうぐったりして、顔、真っ赤になってるね…？
737
738 ……耳責められるの、そんなに気持ち良かった…？（軽く耳にキス）
739
740 ……ん、ふふ、ふふふ…。…でも、一番触って欲しい所には、まだ触ってないでしょ…？ほ
741 ら…。
742
743 ……ああ、もうパンツの中、ぐちゃぐちゃに濡れて…車のシートまで、糸引いてるね…？
744 ……これなら、指も簡単に入っちゃいそう。
745
746
747 っ、ふふ…！……ねえ、マネージャー、すごいよ…？……車内に響くくらい、おまんこ、く
748 ちゅくちゅ言ってる…。
749

750 ……マネージャーったら、こんなに感じやすい体してるのに、本当にオナニーしてなかった
751 の……？

752
753 ……まさか、俺以外にもこういう事されてたなんて……口が裂けても言わないよねえ？

754
755 ※ヒロイン「さ、されてないっ……」

756
757 つ、ふふ、そうだよな？良かったあ…。

758
759 ……俺もね？最近ライブの準備とかで忙しかったから、あんまり一人ではしてなかった
760 けど……。でも、マネージャーの顔とか、声とか、体の柔らかさとか思い出して……一人で
761 何回も、ちんぼ抜いてたよ？

762
763 つ、ああ……こうやってビラビラ広げて、クリの皮剥いて、露出させて……。…それで、この汁
764 が垂れたおまんこを……。んっ…

765
766 つ、ふふ、凄く気持ちよさそう……。…更に溢れてきたマン汁、もっと舐めてあげるね……？

767
768 ん……。つ、ふふ……。じゃあ次は……このいやらしく勃起してるクリ、尖らせた舌で、舐め転
769 がしてあげる……。んっ…

770
771 つ……ねえマネージャー……。…おまんこ以外でも、もっと気持ちよくなりたいでしょ……？……な
772 ら、こうやって指をここにして…。

773
774 そう……自分で乳首、弄って？……そうしたら俺が、クリトリス舌でいじめて、イかせてあげる
775 から。

776
777 ※ヒロイン「そ、そんなの、恥ずかしい……」

778
779 つ、ふふ……！恥ずかしいって、俺の顔は見えてないんでしょ……？……だからいいんだよ、沢
780 山スケベになっても……。ほら

781
782 ……んっ、これだけ吸い上げても、まだマン汁、奥から溢れ出てくる……。…凄いね？中の粘膜
783 がパクパクして、もうイキたがつてるみたい……。っ……

784
785 つ……ふふ、イイよ？イッても……

786 つ、まだイケない……？ならこうやって、クリ舐めるだけじゃなくて…。

787
788
789 ……こうして、指でのスポットも沢山いじめてあげるから、遠慮せずに気持ちよくなって？
790 んっ……！

791
792 つ、ん……！……凄いな？指、おまんこの中できゅうきゅう締め付けられて、食いちぎられそ
793 う……。っ……

794
795 つ……そろそろイきたくなってきたの……？……おまんこ、ヒクヒクしてる……。

796
797 つ、いいよ、イって……？……っ、ほら、俺の舌と、指で……沢山気持ち良くなって……？ほらっ
798 ……！

799
800 ……っ、これ……潮？……サラサラしてて、おしっこみたい……。……吹いた所、初めて見た……。……可
801 愛い、マネージャー……。

802
803 ……こんな車中で目隠しされて……自分で乳首弄って、乳首も、すっつごい、ビンビンに勃起さ
804 せて、しかも潮吹いてイッちゃうなんて……マネージャーはエッチだね……？……ほら、目隠し
805 外してあげる。

806
807 つ、ふふ……！顔もこんなにトロけさせてたんだ……。可愛過ぎるよ、マネージャー……。

808
809 ……ん？服着せて何するのって……。……決まってるでしょ？

810
811 ……これからホテルの中で、まだ潮が滴ってるエロいココに、俺のちんこぶち込むの……。分か
812 った……？

813
814 ふ、逃がさないよ？マネージャー……。……今日はマネージャーに拒否権なんてないんだから、
815 今晚は足腰立たなくなるくらい、俺とセックスしよ……？

816
817 …………ほら、お姫様抱っこしてあげるから、早く部屋行こうね……？っ、ふふ。

05. 「VTR Cistus * albidus」 ～ 晩過した二人。『ファンには絶対言えない』狂った愛情表現～

※ホテルで朝を迎える。

っ、起きた……？

…おはよう、マネージャー。

っ、ふふ…そんなに驚かなくていいじゃん、初めてじゃないんだから…。

………って、どこ行くの？そんな急いで……！

※ヒロイン「会社、行かないと……！それに水科君も、仕事……！」

っ………！

………あー、仕事…仕事かあ……。

※ヒロイン「急いで！」

※ヒロイン、光輝をベットから下ろそうとする

っ、そんなに怒らないでよ、折角^{せっかく}二人で過^{すご}す朝なんだから…。

………っていうか、もう仕事なんて行かなくていいんじゃない……？………今更行^いったって、もう無駄じゃん。

※ヒロイン「ダメよ！」

っ………まあ、確かに…人に迷惑かけてるのは、良くないけどさ…。

………でも、一応マネージャーの為に言うけどさ？………今、こっからホテルの外には出ない方がいいと思うけど？

※ヒロイン「え、どうして……？まさか……！」

855 …ふ、ふふふ。

856 ……何でって。…ほら、コレ見て？このニュースサイトの新着記事…。

858 ※光輝がスマホの画面を見せる。そこにはヒロインと光輝がラブホに入っていく写真がリ
859 クされていた。

860 つ……ふふ、ふふふ、あははっ……！

861 つ、あー、おっかしい………マネージャーのそんな顔、初めて見たあ……！

862 ※ヒロイン「そ、そんな……！何で、こんな…」

863 つ、ははー！何で報道されてるのって…？

864 それはね……俺自身が、匿名でマスコミにリークしたからだよ…？

865 ……あの水科光輝が、マネージャーと恋愛してる、って…。

866 ふ……なーに…？

867 ……マネージャーにとってこの報道は…そんなに都合の悪い物だったわけ？

868 ※ヒロイン「どうしてこんな事を…貴方のした事、分かってるの？（顔面蒼白）」

869 つ………事の重大さくらい、俺が一番分かってるよ…。

870 ……でも、一刻も早くこうでもしないと、俺はまた、マネージャーと距離を置かなきゃいけ
871 なくなるんでしょ……！？……それなら俺、もうこうするしかないじゃん……！

872 ……ああ寧ろ、もっと早くこうするべきだったんだよ……だってマネージャーも俺も好き同
873 士で、俺ももう結婚出来る年なんだから、今すぐにでもっ……！

874 ※ビンタ

891 (何が起きたかわからないというように)

892 痛って……………え？

893 ……何で。…何で叩いたの？マネージャー…………。

894 ……何で？…………俺、何か叩かれるような事…した

895

896

897 ………………何で……！？

898

899 ……何で、謝罪しなくちゃいけないの…？(少し溜めて)…………何でマネージャーは、そういう
900 事ばかり言うの！？

901 ……俺は昨日、マネージャーが俺と距離を取るのが嫌って言ったから……………！だから、こうす
902 るのが一番だと思ってやったのに……………！

903

904 ※ヒロイン「あれは…貴方が好きと言わなければ、貴方が傷付くと思ったから。だから、今
905 までもそう言ってきたの…貴方がアイドルを続ける為にも…」

906

907 ……………え？

908

909 ……俺が傷付くと思ったからって、それ……………どういう事…………？

910

911 ……何で？…じゃあ全部、あの言葉も、キスも、セックスも…………。ガキの頃、二人でやり
912 まくってたのも…………全部…………全部、俺を怒らせない為の同情だったの…………全部、嘘だった
913 の？

914 ……ねえ、そんなの嘘だよね…………？嘘って言ってよ！ねえ……………！

915

916

917 ……うう…っ！違う違う…！…！…！そんなの違う……………！

918

919

920 ……うるさいうるさいうるさい……………！あー、聞こえないっ、何も聞こえないっ……………！

921 ……そんなの、そんなの全部、何も聞こえてないっ！

922

923 ……はあ、はあ、はあ…っ。

924

925 ……………マネージャーは、ネエネは、俺の事…………。金になる道具としてしか、見てなかった
926 んだ…………？

927
928 ……どうせ、金になる人形だと思ってたから……扱いやすいと思ってたから、ファンサしっ
929 かりやれとか、もっと態度良くしろとか、レッスンに時間使えって言ってたんだ……！
930

931 ……俺の事、商品だと思ってたから……。俺の事……どうでもいいと思ってたから！
932

933 ふう……。はぁ、はぁ、はぁっ……。
934

935 っ……俺、行かない……！
936

937 ……ここから、出ていかない……！事務所にも、もう戻らない……！……俺、アイドルなんて
938 辞める……！……普通の男に戻って、ネエネと二人で幸せになるんだよ……！んっ……！
939

940 ※強引なディープキス
941

942 っ……！はぁ、はぁ……。
943

944 っ……うるさいなあ……！……もう俺、何も聞きたくないんだよ……！何も知りたくないなんてな
945 いんだよっ………！
946

947 んっ……！
948

949 ※ヒロインが暴れるバタバタ音
948

949 ……っ、やだ、やめないっ……！
950

950 ……絶対にやめないっ、離さないっ……！んっ………！
951

951 っ……ふう、ふう、はぁっ……。
952

953 っ、んっ……！
954

955 ……嫌って泣かれても……やめないよ？
956
957

958 ……また俺の事、愛してるって言うてくれるまで……。また、俺だけが一番だって言うてくれ
959 るまで……絶対にやめないから。
960

961 ※性器を少しだけ挿入
962

963
964 んっ……！……ほら、もう全部……入れるからね？
965

966 ゴムなんてするわけないだろう！？
967

968
969 ん、っ……う、ぐっ、ああっ……！（奥まで挿入していく）
970

971 っ、あっ……！ああ、はああっ……！
972

973 っ、はあ、はあ、はあ……。……っ、ああ、んっ……！
974

975 っ、ああ……気持ちいいっ……。……気持ちいいよ、ネエネ……。っ、ああ……ああっ……くっ、ああ
976 ……！
977

978 ん、んっ、ああ、ああ……。
979

980 っ……ねえ、ネエネ……？……いつまで、俺を否定するつもりなの……？
981

982 ……っ、早く……早く俺を、受け入れてよ……！っ、前にみたいに、ガキのときみたいに……！
983 っいつのまじりに、俺をっ………！
984

985 ……っ、やだよ、やめないうっ……。……今更、やめたりなんて……しないっ……！
986

987 っ、はあ、はあ……っ、ふう、ふう。
988

989 っ……もう、終わりだって言うなら……！また、離れ離れに、なる、くらいならあっ……！
990

991 （首に手をかける）
992

993 っ、う、うううっ……！
994

995 （首をしめる）
996

997 っ……！うっ、ううっ……っ、ああっ……んんっ、ん………！
998

……っ、ああ、はあっ……！……気持ち、いいっ！
996

997 っ、あっ………！っ……ん、首締めながら、するの………すごくいいっ……。っ、ああ、あああ
998

あっ………！

999 ※激しくピストン

1000
1001 つ、はあ、はあ……っ、んっ…。

1002
1003 つ……マネージャー、声…出ないの……？

1004
1005 ……っ、はは、あはは、あははっ………っ、可愛い、可愛いよ？マネージャー……！

1006 つ…顔、真っ赤で……何も話せてないの、凄く、凄く可愛いっ………！っ、あは、あはははっ、
1007 茹でタコみたいっ！

1008
1009 かわいい、ネエネ……。苦しいよね？大丈夫だからね……？

1010
1011 かわいい！

1012
1013 チンポでガン突きしながらあ……、ネエネのお尻の穴も触ってあげるね。
1014

1015 何ビクビクしてるのお……？女の子だからあ、生ちんぽでレイプセックスされながら、ケツ
1016 の穴指入れされるの怖い？だーめっ♥ネエネのまん汁……、ローション代わりにしてえ……
1017 ケツ穴に、指、入れちゃうね？

1018
1019 恥ずかしいよねえ、女の子だもんねえ……。自分が拾ってきて、丹精込めてトップアイドル
1020 に育てようとした子に、けつまんこ指でほじられながらあ、首絞め生ちんぽ、レイプセック
1021 スキメれるとか……、屈辱だよねえ……(笑)

1022
1023
1024 ねえ？すっごい、クリ勃起してる(笑)分かるう？(笑)生ちんぽピストンキメられながら、

1025 アナルに突っ込んだ指でえ、腸壁側からあ、マンコの壁、指でコリコリっ、コリコリって、
1026 しごかれるのそんなに気持ちいい？
1027

1028 ネエネのクリトリス、ヒクヒクヒクヒクって(笑)ピンピンに勃起してえ、男の子のチンポみ
1029 たいになってるよ？(笑)恥ずかしいねえ、女の子なのに、ネエネのクリトリス、クリチンポ
1030 になっちゃたねえ
1031

1032 ……アナルの指攻めとクリチンポ攻めしてあげるね(笑)
1033

1034 ネエネのまん汁ローションでえ、ケツ穴に指入れて、グチュグチュグチュっ、グチュグチュ
1035 グチュって。クリチンポもシコシコシコシコっ、シコシコシコシコっ、って♥

1036
1037 ねえ……、変態セックス感じてんじゃん？何回もイってんじゃん（笑）
1038

1039 ああ、その顔やっぱい、ゾクゾクする。またチンポ、ネエネの中でミチミチッ、ミチミチッ
1040 いって、大きくなったの、分かった？
1041

1042
1043 つ……はあ、はあ……。つ、ネエネ、ネエネっ……！

1044 つ、お願い……。俺と一緒に……壊れて？つ、俺と一緒に……っ、一つに、なって……？

1045 はあ、はあ、っ……あ、あああっ……！っ、もう、出るっ……出る、っ、あ、あああっ…………！
1046

1047 ※射精
1048

1049
1050 つ……はあ、はあ、はあ……。

1051
1052 ん、っ……

1053
1054 つ、はあ……。

1055
1056
1057 ねえ、マネージャー……。

1058
1059 ……俺、マネージャーとの結婚報告……してもいい……？
1060

1061 ※ヒロイン「やめて……」
1062

1063 つ……知ってたよ、そうやって言うだろうなって事は……。
1064

1065 ……なら、もうマネージャーを、俺の子種こだねで孕はらませるしかないのかな……。
1066

1067
1068

1069 っ……こうして、濡れてない所に無理やり突っ込まれて、自分勝手に揺さぶられて、首締め
1070 られて子宮にチンポ汁、ビュービュー、ビュービュービューってえ、中出しされてイ
1071 ヅっちゃう変態なのに…。

1072
1073 ……なのに、まだそんなに抵抗するんだ……？
1074

1075
1076
1077 ねえ、ネエネ……。……これ、舐めて？
1078

1079 嫌って言うなら、今すぐマスコミに電話かけて…マネージャーとの結婚報告、しちゃうよ？
1080

1081 ※フェラ音
1082

1083 っ……ん…あっ。は、あっ…んう……！（嬉しそうに）っ……まさか、本当にしてくれるなんて
1084 ……ん、あぁっ。

1085
1086 っ……あ、舌……熱くて、絡み付いて、気持ちいい……。っ、もっと…根元扱いて？…先っ
1087 ぽ、舌で吸って？

1088
1089 ん…っ、っ、あ、あぁ…ん…っ……！
1090

1091 ふ……はぁ、はぁ……。っ……ねえ、ネエネ？……ネエネ今までこういう感じの事、頼んでも
1092 してくれなかったよね…？

1093 っ……なのに、仕事の話を出すと……こうやって、何でもしてくれるようになるんだね…？ホ
1094 ント仕事のためなら、何でもする変態メス豚マンコなんだからっ！？……。

1095
1096 ……俺以外の男にこんなことしてない…？フェラとか、デープキスとか……、仕事取って
1097 くる時、身体とか使っていないよね…？

1098
1099 ……ネエネほんとうに、綺麗で、可愛いから、他の男に狙われると思うと心配で心配で……。
1100 ほんと？う、んんっ……！
1101

1102 ※ヒロイン「違っ…」
1103
1104

1105 つ…何？口、離さないでよ……。

1106
1107 つ、今から、喉、使うんだからっ……俺専用の口マンコオナホ……！

1108
1109 つ、ああ……！

1110
1111
1112 つ、う、う……ああっ……！ん、ぐっ……！……っ、喉の奥……ヤバい……！ネエネを、大好きな女
1113 のに、モノにみたいに、オナホみたいに喉使って、無理やりチンポしゃぶらせてる……。

1114
1115 ああやっぱあ……。腰止まらない……。やっべえ……。ネエネの……イラマ口マンコ、マジ
1116 最高。マジハマる……。他の女とかマジ無理……。ほっつんと、ネエネが世界で一番、最
1117 高……大好き。

1118
1119 ん……はあ、はあっ……。っ……辛そうな、顔……！っ、すっごく……可愛いよ？ネエネ……！

1120
1121 ※近くのスマホを手取る

1122 ※スマホの操作音(ピ、ピ、という感じの電子音)

1123
1124 ん、んっ………！

1125
1126 ……っ、はあ、はあ。っ……何口離そうとしてるの……？俺、まだイッてないでしょ……？
1127 つ……ほら、早く……俺専用の喉マンコ締め付けて、年下チンポしゃぶりこんで♡♡

1128
1129
1130 マネージャーなんだから、アイドルの言うこと、聞かないとね？

1131
1132 つ、あ、ああっ……。っ……そうだよ……。っ……イかせてくれたら、もう何も言わないからっ……！
1133 ……だから、電話終わるまでに……。……口の中で、出させて？ん、んんっ……。

1134
1135 ふっ、ふっ……

1136
1137 つ………！

1138
1139 ……ネエネ、何で泣いてるの……？(辛そうに)っ……泣きたいのは、俺の方だよ……！ん、ん
1140 んっ………！

1141
1142
1143 ※よそ行きトーンに戻り、マスコミに電話する
1144

1145 じ…あぁ、もしもし？…ふ、はは！声で分かりました？…はい、水科本人です。
1146

1147 じ……あつ、そうですね？…一体…何処で写真なんて、撮ったんですかぁ…？
1148

1149 じ……そうじすか…。…でも、アしは…。
1150

1151 じ……アしは、俺じゃない…ですよ？
1152

1153 じ、あ…。っ、本当、ですってば…。
1154

1155 …まず俺、昨日のライブ終わりは、もう、家に帰ってましたよ…？…事務所に聞けば、分
1156 かります…。
1157

1158 じ……そうですね？信じるも、信じないも…貴方達、次第ですけど…。…でも、もし本当じゃ
1159 なかったら…貴方達、大変な事になるんじゃないかって、思っただけです…。
1160

1161 っ、本人は、否定してるって…。

1162 記事に、書いて下さい…。…俺が、言うのは……それだけです。では…。
1163

1164 ※スマホ通話終わり
1165

1166
1167 じ……はぁ、はぁ、はぁっ…！っ、もう、我慢出来ない…！
1168

1169 ※3秒の間
1170

1171 じ……ー出るっ…！…っ、もう、出すよ？ネエネ…！
1172

1173 っ、あっ、あっ、ああああっ…！…くっ、ああっ！
1174

1175 っ…はぁー、はぁー、はぁー…っ。
1176

1177
1178
1179 ネエネ、イラマチオしてくれて、ありがとっ。苦しかったよね？
1180 っ、ネエネとキスしたら、俺の精子の味すっごいする(笑)すごいね(笑)
1181

1182
1183
1184
1185 ※ヒロインキスを払い除け「っ、どうして…」
1186

1187
1188 っ…何で、庇^{かば}ったのかって…？
1189

1190 っ……ふふ。何で……何でだろうね？俺にも分かんない…。
1191

1192 っ、最初は、本当に、報告…しようとしてた…。(少し溜めて)……でも、もうどうするのが
1193 一番いいか分からなくて、ああ言った…。
1194

1195 ……どうせあんなの、焼け石に水の発言だけど…。でも、否定してるって、言うだけ言わな
1196 いと…って、思ったのかもしれない…。
1197

1198 っ…。俺だって…もう全部終わらせたい…。(少し溜めて)……何もかも捨てて、大好きなネ
1199 エネの事閉じ込めて、ずっと二人っきりでいたい…。
1200

1201 …でも、ネエネは……(少し暗く)俺の事、同情で愛してくれてたんだよね…？
1202

1203 ※ヒロイン「それは…」
1204

1205 っ……ううん、否定しなくてもいいんだよ…？
1206

1207 俺…マネージャーを好きでいられて……。マネージャーに、ずっと近くで見守って貰って
1208 ……。凄く、凄く幸せだったから…。

1209 ……だから、マネージャーの悲しがる顔なんて見たくなくて、きつこうしたんだよね…？
1210

1211 ……良かったよ、報告なんてしなくて。

1212
1213 っ、マネージャー…。
1214

1215 ……酷い事、沢山して…ごめんね？……一緒に、事務所に謝りに行こう…？
1216

1217 ……それで、俺達……。元の関係に、戻ろう…？
1218

1219 ※ヒロイン「それで大丈夫なの…？」
1220

1221 っ……大丈夫だよ…？……俺の事は、もう心配しないで？
1222

1223 ※ヒロイン「本当に？」
1224

1225 ……うん、本当。
1226

1227 ……俺、同情でも、仕事の為でも…。
1228

1229 ……マネージャーに、好きって言って貰えて…本当に幸せだったから。
1230 ……だから、もう大丈夫だよ。

1231
1232 ……うん、分かったよ…。
1233

1234 ……じゃあ、これからは、男としての俺じゃなくて…。(少し溜めて)…アイドルとしての
1235 俺を、沢山愛してあげてね？
1236

1237 ※ヒロイン「勿論だよ」
1238

1239
1240 うん、ありがとう…！
1241

1242 ……最後まで大好きだったよ、マネージャー…。(軽いキス一回)
1243

1244
1245

1246

06. Gerbera 「アンコールは鳴り止まない」 ～アナタへの告白。そして感謝の「形」～

1247

※トマスコミに恋愛騒動がリークされ、一時は活動を休止する間際までだったが、漸くアイドル活動を再会。

1248

1249 ※ライブのアンコール前。光輝をステージに送りだすヒロイン(マネージメント業務を外されている)、不穏なものを感じ、光輝に話しかける。

1250

1251

※歓声(キヤー、という感じの)

1252

※アンコールに応え、ステージに戻る水科

1253

※足音

1254

1255

っ、マネージャー？……じゃなくて、もうスタッフさん……だったよね。

1256

1257

……あれから、会えると思わなかった…。一体どうしたの？こんな所で。

1258

1259

っ、マネージャー、何かあったの……？俺、もうすぐアンコールだから、あんまり時間が無
いんだけど……。

1260

1261

※ヒロイン「大丈夫？」

1262

1263

1264

っ……！大丈夫かって、わざわざ心配して来てくれたの……？ありがとう、嬉しいよ。

1265

1266

……でも俺、もうマネージャーの事は吹っ切れたし、大丈夫だよ……？ライブだって後はア
ンコールだけだし、スタミナも切れてないし、これまでも上手くやれてたでしょ？

1267

1268

1269

※ヒロイン「え、ええ……心配だったから。でも、大丈夫そうね？」

1270

1271

……うん、大丈夫。…それに俺、またこうやってアイドルとしてステージ立てるの、凄く嬉
しいから。

1272

1273

……だから、最後まできちんとやるよ、自分自身の為に。(少し溜めて、ステージを見て)……
ああ、もう出番だ。行かなきゃ……。

1274

1275

※ヒロイン「行ってらっしゃい」

1276

1277

1278

うん、行ってくるね……。

1279

1280

1281
1282 ……マネージャーもさ、今日くらいは俺の事…一番近くで、しっかり見ててよね。
1283

1284 …じゃあ、行ってきます！
1285

1286
1287 みんなー、アンコールありがとう！…俺、またこうしてアイドルに戻って、皆の前でステ
1288 ジに立てるの、マジで嬉しいよ…！
1289

1290 …何もかも、皆のおかげ！本当に…本当にありがとう！…最後の曲『アンコールは鳴り止
1291 まない』…アンコールまで、最高に楽しんでこうぜ！
1292

1293 ……でも、アンコールの曲歌う前に、少しだけ、皆に聞いてもらいたい事があるんだ…！
1294

1295
1296 まず、皆への感謝……！
1297

1298 …ほら俺、今からちょっと前に、当時のマネージャーとの熱愛報道があったでしょ…？
1299 ……三年前のユニット脱退騒動とか、事務所の退所とか…。本当色々、皆に心配かけてる
1300 のに、まだこうして沢山の人がライブに来てくれて…応援してるって言ってくれて…俺、本
1301 当に嬉しいよ！ありがとうっ…！
1302

1303
1304 ……それでね、今日、俺は…。

1305 …俺、水科光輝は…。皆に、本当の事を言おうと思って、準備してきたんだ。
1306 です！)

1307 ※芸能事務所のスタッフ「止めろ！」という指示が出る。
1308

1309 つ、止めんな！誰も止めんじゃねえよ…！俺に近付くなっ！
1310

1311 つ……はあ、はあ、はあーっ。
1312

1313 つ……今俺を止めたら……今すぐこのカッターで…自分の首刺して、死ぬから。
1314

1315
1316

1317 っ…………俺は、水科光輝は、∞歳の頃、マネージャーにスカウトされて、アイドルになって、
1318 活動して…。…………でも色々あって、16でソロになった…。

1320
1321 ……ソロになった時は、もうステージに立てないかと思って思った…。…………だから今、こうし
1322 てステージに立ててる事が、凄く幸せで、奇跡だと思ってる…。

1323
1324 ……だけど俺、もうダメなんだ……………だって、もう俺の傍には、大好きなマネージャーが
1325 いないからっ……………！

1326
1327 っ…………。

1328

1329 マネージャーはね…？俺が、マネージャーにセクハラしてる社長を殴って、ユニット脱退さ
1330 せられて、事務所も辞めさせられて、アイドルやめようとした時っ…………。自分も事務所を
1331 やめて、路頭に迷ってる俺を、ソロに戻してくれた…。

1332 ……もう一度輝けるって、一番のアイドルになれるって、俺を…………俺なんか信じて、もう
1333 一度チャンスくれた…！
1334

1335 っ…だから俺、マネージャーの為に頑張った…！…四六時中、ネットである事ない事書かれ
1336 ても、中傷されても、頑張って、必死にステージに立ってた……………！

1337 ……だって俺、マネージャーの事が…………大好きだったからっ……………！
1338

1339 でも…………きつとマネージャーは、俺が弱かったから…。ワガママだったから、俺の言う事…
1340 聞いてくれてたんだよね？

1341 ……俺に好きって言わないと、俺がダメになっちゃうから…だから、嫌でも好きって言っ
1342 てくれてたんだよね…？
1343

1344 それなのに…なんか俺、沢山勘違いしちゃって、ごめんね…？

1345 ……マネージャーに愛されてるなんて、1ミリでも思っ、ごめんねっ……………(5秒程泣く)

1346
1347 っ…………でも俺、もう嫌なんだよっ……………もう、頑張れないんだよっ……………こんな仕事、も
1348 うしたくないんだよお……………！
1349

1350 っ…もう、辞めたいよおっ……………マネージャーに愛されないなら、もう生きる意味なんてない
1351 んだよおっ……………ああああっ……………！
1352

1353 (カッターを振り上げる)

1354

1355 ※刺し音

1356

1357 ※痛み

1358

っ……！ぐ……っ、あ……！（口から血を吐く）げほ、げほっ……！っ、ひゅー、ひゅー……。

1359

（力を入れてカッターを突き刺そうとする）

1360

んっ、んんっ……！（突き刺す）

1361

1362 ※刺し音

1363

1364

っ、は、はは！あははは！ははっ……！

1366

（息を絶え絶えに）

1367

っ、はあー、はあ、はあーっ……。

1368

（歌のワンフレーズを歌 バラード）

1369

う、アンコール、が、なりやま……な、いつ……っ、僕、は、君、をお……！

1370

（途中で血を吐く）

1371

っ、はあ、はあ……ゲホッゲホッ！

1372

（力を入れて刃物を突き刺さそうとする）

1373

ん……んんっ、んっ……！（突き刺す）

1374

※刺し音×2

1375

1376

1377

ゲホ、ゲホ……。っ、ああ……きら、きら、してる……。…俺、輝い、て、る……。

1378

1379

※刺し音

1380

1381

ッ、ゲホッ……、ゴホッ……！（変な感じの息を漏らす）っ、ひゅー、ひゅー……。

1383

1384

っ……マネージャー、見てる……？俺、輝いてる……？

1385

1386

……輝い、て、るよね……？マネー、ジャー……。

1387

1388

※一呼吸の間

※どさりと倒れる

はぁ、はぁ…。…でも俺、ホントは…マネージャーだけの、アイドルに、なりたかった。

終

1389
1390
1391
1392
1393
1394
1395
1396
1397
1398
1399
1400
1401
1402
1403
1404
1405
1406
1407
1408
1409
1410
1411
1412
1413
1414
1415
1416
1417
1418
1419
1420
1421
1422

07.「FEND「嘔吐きサナトリウム」」個室病室に二人つきり。何も起こらないハズもなく……」

1423
1424
1425 ※病院内で手術を受けた光輝の元に、ヒロインがやってくる。
1426

1427 ※病院の廊下を歩くヒロイン
1428 ※ヒロイン、水科の入院してる個室に入り、カーテンを開く
1429

1430
1431 つ……マネージャー？
1432

1433 つ……うん、もう大丈夫だと思うよ……？……何か、三日も寝てたみたいだけど……あんまり傷
1434 が深くなかったから、へーきみたい……。
1435

1436 つ……何で泣くの？そんなに泣かないでよ……。……マネージャーは、何も悪くないでしょ……？
1437

1438 うん……。だって、ライブダメにしちゃったのは、俺の方だから……。
1439 ……だから、マネージャーも責任感せずに、早くここから出ていった方がいいよ……？
1440 ……じゃないと、ここ……直ぐに写真、撮られちゃうから。

1441 ふ……怒ったマネージャー見るの、何か久しぶりだね？……懐かしいや。
1442 ……でも俺、ホントに気を使って貰わなくても、いいんだよ……？
1443

1444 ……だって俺、今はほんとに犯罪者のような物だから……。
1445 ……だから、今はそういう扱いの方が、俺にとっては似合ってるのになって……。
1446

1447 つ……だって俺、ファンの人達の前で、あんな事しちゃったんだよ……！？
1448 ……ファンの人を、応援してくれてた人を、あんな形で冒涇しちゃったんだよ……！？
1449

1450 ……だからもう、俺には死んで詫びる事くらいしか思いつかない……！……もう俺は、生きてる
1451 事自体が罪なんだよ……！
1452

1453 つ……やだ。もう難しい事……全然分らない……。もう自分一人じゃ……何一つ分らないよ。
1454
1455
1456
1457

1458 …もう生きてく事も、誰かを愛する事も、もう嫌なんだよ……。

1459

1460

1461 …ねえ、マネージャー……？……何で俺の腕は、こんなに変な管が沢山ついてるの……？
1462 ……ねえ、何で俺の腹は……首は……。こんなに縫い跡だらけで汚いの……？
1463

1464 ※ヒロイン「そんな事ない！」
1465

1466 つ、う、うううつ、うう……。
1467

1468 つ……綺麗とか、そんなわけないじゃん……。……もう俺を愛してくれる人なんて、誰一人居
1469 ないんだよ……。
1470

1471 つ……ああ、死にたい。消えたいな……。
1472

1473 ……こんな事なら、生まれてくるんじゃないかった……。
1474

1475 ……首、刺した時ね……？
1476

1477 ……何か、色んな事が、頭に浮かんたの……。
1478 ……走馬灯って、いうのかな。何か熱くて、痛くて、感覚無くなりながら……。……色んな事、思
1479 い出してた。
1480

1481 ……ほら、俺……。昔から、誰にも期待されてなかったじゃん……？
1482

1483 ……家族は病気の弟に付きつきりで、俺の事は常に二の次で、全部後回しにされてきてさ……。
1484 結局弟の看護あるからって、母親に児童養護施設入れられた。施設はホントクソみたいな場
1485 所で、女顔だからって、ひどいいじめばかり受けてた。年上の子からはボコボコに殴られる
1486 し。
1487

1488 いつも、近所の公園で……それで、ネエネに公園で見つけてもらって、事務所の養成所に入れ
1489 てもらえて。母親に俺がアイドルやるって言った時も、弟の病院代が大変だから金かけるな
1490 って……弟の事ばかりだった。
1491

1492

1493

1494 ……だからね、ネエネにスカウトされて、アイドルやれて……。……俺が誰かの一番になれ
1495 るって事が、本当に嬉しかったんだ……。……でも、そんな大切なファン達に、俺は、一番
1496 最低な事…しちゃったから。

1497
1498
1499 ガキの頃、一緒に合宿所で過ごした日覚えてる？俺がふさぎ込んだときとか、ネエネ時々、
1500 合宿所から連れだしてくれて。喫茶店でパフェとか、ソフトクリームとか、ホットケーキと
1501 か。美味しいものたくさん食べさせてくれたり。ネエネも駆け出しだったから、絶対お金な
1502 いのに、無理してくれて……。
1503

1504 ゲームセンターで一緒にクレーンゲームしたりとか。本当に楽しかった。俺って、家族の思
1505 い出も友だちの思い出も、ほっつんと何にもないからさ(笑)

1506
1507
1508 ほんとうに、救われたんだ。この世界に居ても、いいことあるんだな。幸せってこういう
1509 ことなんだな、って。

1510
1511 マネージャー、

1512
1513 ……ネエネが本当のお姉さんみたいで、嬉しかった。

1514
1515 あのとき、デビューもまだだったから、レッスンばかりで、まだ時間あったから、セックス
1516 もしまくってたよね(笑)

1517
1518 ネエネったら、ガキ相手の俺に大人のテクニック使いまくって(笑)性癖歪んじやうよ、ホン
1519 ト(笑)

1520
1521 で、そっからデビュー決まって、ネエネって呼び方禁止されて。

1522
1523
1524 『今日からネエネって呼び方は禁止です！わたしのことは、マネージャーって呼ぶこと！』
1525 なんて。

1526
1527 ひどいよね、急に突き放して。

1528
1529

1530 ネエネがセックスさせてくれなくなって、何人も他の女とセックスしてみたけど、ちー
1531 ーっとも、気持ちよくなかった。

1532
1533
1534 俺ってやっぱ……、ネエネじゃないと……、ダメなんだあつて……。

1535
1536
1537 ……ん？さっきから何やってるかって……？

1538
1539 う……そうだね……？……このシートで、首吊れないかなって、思っ……。

1540
1541 うー………どうして？なんで奪うの……？

1542
1543 ※ヒロイン「そんな事しないで……！」

1544
1545
1546 う、やだ……！返してよ、それ……！

1547
1548 ……俺、それで死ななくちゃいけないの……だから、返して……？

1549
1550 ※ヒロイン「大切な水科君が死ぬのを見てるだけなんて、私には出来ない……！」

1551
1552 う……大切ななんて、また嘘なんでしょ？

1553
1554 ……だって、本当に俺の事が大切なら、俺の事……死なせてくれるもん……！……そのシート、
1555 俺に返してくれるもん……！

1556
1557 ※3秒の間

1558
1559 う、う、う、ううっ……。やだよお……。もう死にたい、死にたい、死にたいんだよお……！
1560 う、うううっ……。

1561 う、はあ、はあ………。

1562
1563 ※泣き終わった後、ヒロインから光輝の目にキス。

1564
1565 ……う、え………？ネエネ……？

1566
1567
1568 (混乱)っ…………ど、どうして逃げるのって……。何で…自玉に、キスなんてっ…………。
1569

1570 (再び舐められそうになり)っ、あっ、やめっ…………！
1571

1572
1573 (眼球を舐められ、少し苦しそうに)
1574 っ、んうっ……！ん、うう、ああっ…………！
1575
1576

1577 っ…………痛いよ、ネエネ…………そんな、めん玉…舐められるのなんて…！っ、ううっ、やだ
1578 あっ…………！
1579

1580 っ、はあ、はあ……。…………はあ。
1581

1582 っ…………何で？…………何で、俺の目玉なんか、舐めたりしたの…？汚いよ…………。
1583

1584 ※ヒロイン「水科くんのこと大切だから、涙を見たくないの」
1585
1586

1587 っ…………なにそれ、変なの…………。
1588

1589 ……………俺の涙が見たくないなんて、変な理由…。
1590

1591 ……ねえ。ネエネは…………俺を死なせない為なら、何でもするって…………。そういうつもりなん
1592 だよな…？
1593

1594 ※ヒロイン「ええ…………」
1595

1596 ふーん、そっか…。…………なら、今からちょっと…俺とセックスしてよ？…………いいでしょ？
1597

1598 ……なーんてね…？(…………ごめん、変な事言っ…………。…今の、忘れて…。
1599 (服を脱ぎ始めるヒロインに気付いて)っ！
1600

1601 ※ヒロイン、服を脱いでいく

1602
1603 つ、ネエネ…!?!?……何で、俺の言うこと聞いて、脱いでるの……?。
1604 まさか…本当に、するつもりなの……?
1605

1606
1607 ※ヒロインがベッドに乗り上げる)
1608

1609
1610 つ……………分かった。(少し溜めて)……………なら俺も、適当に脱がせてよ……?
1611

1612
1613 つ、ありがとう…。……………ネエネ、今日は一段と綺麗だね?
1614

1615 ※ヒロイン「そうかな?」
1616

1617 ……うん、綺麗だよ?

1618 何か……………生きてる人って感じが、する…。

1619
1620 ※ヒロイン「なら水科君は生きてないの?」
1621

1622 ……うん、俺はね…。

1623
1624 ……もう一回死んだから、生きてないの…。

1625
1626 ※ヒロイン「それって…」
1627

1628 ……そう、俺…死に損ないの木偶でくのぼうの坊なの…。

1629
1630 んっ…。

1631
1632 ※性器に触れる

1633 ※ヒロイン「もう生きたくないと思っているの?」
1634

1635
1636

1637 っ……分かんない、分かんないよ……。…でも、もう生きていたいとか…生きなきゃいけな
1638 いとか、そういうの…押し付けられたく、ない…。
1639 っ…でも…ネエネの手、気持ちいいよ……。

1640
1641
1642 っ、ん、んう…。

1643 っ…何か嫌だね？…こんな時でも、反応するのって…。(少し溜めて)…それとも、最後だ
1644 からって、種、残そうとしてるかな……？
1645 っ…だったら俺、凄く浅ましいや…。

1646
1647 ※性器から手を離す
1648

1649 っ、ん…。…もう、いれちゃうの…？
1650

1651 ※ヒロイン「…だめかな？」
1652

1653 っ、ううん、大丈夫…だけど…。
1654

1655 ……ああ、でも手、握らせて…？
1656

1657 ※性器に性器を押し当てる
1658

1659 ※ヒロイン「大丈夫？」
1660

1661 っ、大丈夫…。
1662

1663 ……俺は、もういいよ…？
1664

1665 ……ほら、俺のちんぽ…早くネエネの中に、入れさせて…？ネエネといると……もう、
1666

1667 へソにつくくらい、ちんちん^{そり}返ってる……！
1668

1669 っ……！
1670

1671 っ…あ、あぁっ……ネエネの中…やっぱ、最高に気持ちいい…。どんな女よりも。……もう、
ダメになりそう…。

※ゆっくりピストン
1671

1672 つ、はあ、はあ、はあーっ。

1673
1674 ん……っ、気持ち、いいの……何か、怖いよ……。っ、怖くて……もう、やだよ……！っ……気
1675 持ちいいって、思うの……生きてるって、感じるの……もう、やだっ……！

1676
1677 っ………ああ、もう、嫌いっ……！………ネエネの、事も……自分の、事も……。みんなみんな、
1678 嫌い……大、嫌い……！っ、ん、あああっ……！

1679
1680 っ………はあ、はあ。っ………ネエネ、これ終わったら……絶対……ピル、飲んでね………？
1681 っ、ネエネの、中に……俺の遺伝子なんて、一滴も……残しちゃ、ダメだからね……？っ、ん、ん
1682 っ………っ、ああっ………！

1683
1684 っ………はあ、はあ……！

1685 っ………もう、イく……！もう、出ちゃう………！っ、ネエネの中で、出しちゃうよお………！（射精）……
1686 っ、は、あっ、あああっ………！

1687
1688 ※射精

1689 っ………はあ、はあ、はあっ………。

1690 っ………もう、ダメ……。っ、はあ、疲れ……た。

1691
1692 っ………ねえ、ネエネ……。

1693 嫌じゃ、なかったら………朝までここに、いてくれる……？

1694
1695 ※ヒロイン「うん、貴方がそう言うなら。」

1696
1697

1698 うん、ありがとう……。

1699 ……俺、ネエネがずっところにいるくれるなら……。きつと……まだ生きられる気がするんだ。

1700
1701 ねえ、ネエネ……。

1702 ……あのね、俺……。もう一つだけ……お願いがあるの。

1703
1704 ※ヒロイン「何？」

1705

1706 ……あのね、その……。

1707

1708
1709 ……俺が、眠るまで……手、握ってってくれる…？
1710

1711
1712 それで……嘘でもいいから、愛してるよって…言い続けてくれる？
1713

1714 ※ヒロイン「勿論だよ」
1715

1716
1717 つ、ありがとう…。……俺、今日はやっと静かに眠れそうだよ。
1718

1719
1720 ……うん、おやすみ、ネエネ……。
1721

1722 ………目が覚めたら、俺も、ネエネも、周りも、世界も……。全部全部、あの頃に戻ってた
1723 らいいね…。

1724 ……おやすみ、ネエネ。……愛してるよ……。
1725

1726 END
1727